



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

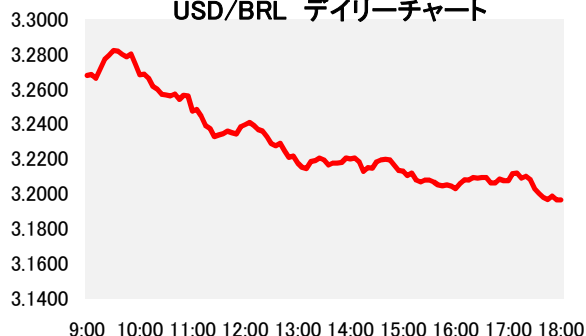
			8月31日	9月1日	9月2日	9月5日	9月6日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.2260	3.2570	3.2560	3.2830	3.1960	-0.0870
	BRL/JPY	Spot	32.05	31.69	31.92	31.50	31.92	+0.42
	EUR/USD	Spot	1.1157	1.1198	1.1156	1.1146	1.1255	+0.0109
	USD/JPY	Spot	103.43	103.21	103.92	103.43	102.03	-1.40
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	13.856	13.763	13.720	13.719	13.706	-0.013
	Future	1Year(p.a.)	13.145	12.988	12.940	12.928	12.881	-0.048
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.155	2.225	2.253	2.190	2.156	-0.034
	USD	1Year(p.a.)	2.331	2.381	2.321	2.288	2.221	-0.067
株式	Bovespa指数		57901	58236	59616	59566	60129	563
CDS	CDS Brazil 5y		259.60	260.72	258.09	256.85	251.13	-5.73
商品	CRB指数		180.207	178.209	179.994	179.994	180.895	+0.90

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

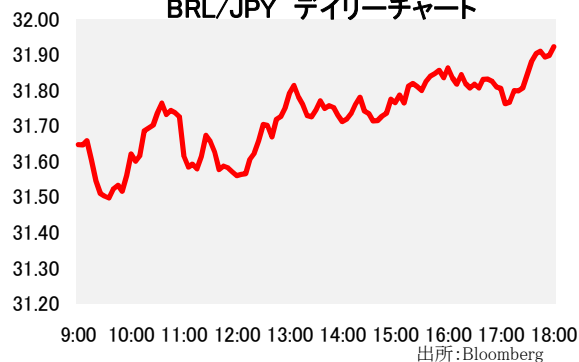
2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
自動車生産台数	--	177726	189907
自動車販売台数	--	183890	181408
自動車輸出	--	40191	45552
(米)労働市場情勢指数	0.0	-0.7	1.3
(米)ISM非製造業景況指数(総合)	54.9	51.4	55.5
(米)IBD/TIPP景気楽観指数	48.1	46.7	48.4

USD/BRL デイリーチャート



BRL/JPY デイリーチャート



3. 要人コメント

マイヤ伯下院議長	政府が提案する(財政)調整案を支持する。ブラジルは正しい道のりを歩んでいる。
----------	--

4. トピックス

- 本日のレアルは3.2750で寄り付き後、伯中銀によるドル買い介入が実施されるとレアルは下落、日中安値となる3.2840を付けた。しかし、8月の米ISM非製造業総合景況指数の拡大ペースが鈍化、6年半振りの低水準となったことを受けて、米利上げ観測が後退、レアルはじりじりと反発し、本日の高値となる3.1950を付け、結局3.1960でクローズした。
- 米ISM非製造業の結果を受けてドルが大幅安となったことから原油に買いが入り、WTI原油先物が続伸した。一方で、昨日ロシアとサウジアラビアが市場安定で協力する意向を明らかにしたものの、具体的な措置に触れなかったことが嫌気され、原油先物価格は続落した。
- 本日の朝方に伯中銀によるCOPOM議事録が発表され、先週のCOPOMの声明文と同様、インフレ動向次第で利下げに転じる可能性が確認されたことでレアル先物金利は下落した。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいませう、宜しくお願ひ申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作権法により保護されており、当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。